

東京医科歯科大学 眼科 教授

大野 京子 診療科長

当院のICL治療のメリット

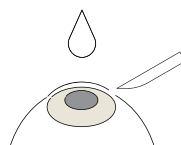
私たちは、「失明を撲滅し視覚障害を持つ患者さんを救い社会に貢献する」を目標に眼科医として全力で取り組んでいます。そして、全国各地ならびに国外からも患者さんを集めている圧倒的に強い領域の1つに「強度近視」があり、強度近視の診療と研究のノウハウを生かして、2023年秋からICL治療を開始いたしました。

ICL手術は現在全国の施設で行われていますが、当院では白内障並びに硝子体手術の術者が行っており、強度近視診療を専門とする当院がICL治療を行うメリットが多々あります。例えば、強度近視患者では、一見わからないような合併病変を視神経や黄斑部に伴っている場合がしばしばあり、これらの病変を見落とすことなく、手術適応から術後管理まで正確に提案できる点が当院のICL治療の強みであり、患者さんにとっての安心という大きなメリットになります。

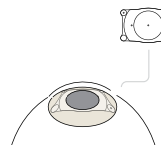


当院のICL治療方法

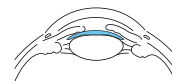
ICL（眼内コンタクトレンズの手術）



点眼麻酔し、
角膜の際を約3mm
切開する



切開部分から
ICLを挿入する



レンズを虹彩と
水晶体の間に固定する

虹彩の裏側にコンタクトレンズを挿入する



東京科学大学病院
眼科 先端近視センター

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
医局 TEL 03-5803-5254
医局 E-mail ikashikadaicho@gmail.com



目覚めたら裸眼で視界クリア！
旅行や災害でレンズを紛失する心配なし！

眼内コンタクトレンズ

ICL

Implantable Contact Lens 治療



ICL とは？

ICL (Implantable Contact Lens) は日本語で「眼内コンタクトレンズ」と呼ばれ、眼の中（水晶体と虹彩の間）に専用の薄いレンズを入れることで近視・乱視を矯正する屈折矯正手術です。



東京科学大学病院
眼科 先端近視センター

ICL 治療 Q&A

お話を伺った先生

東京医科歯科大学病院 眼科 助教

高橋 知成 (たかはし・ともなり) 先生

ICL 治療とレーシック治療の違いは？

A レーシック手術は眼の表面にある角膜をレーザーで削り、形状を変えることで視力を矯正しますので、一度削ってしまった角膜を元に戻すことができません。しかし ICL 手術は、角膜を削ったりしませんし、眼内に入れたコンタクトレンズを取り外すこともできます。レーシック手術は強度の近視や乱視には適用できない場合がありますが、それ以前に角膜の形状が変わってしまいますので、場合によっては将来の白内障の手術に支障を来すことがあります(光を散逸ロスするため、コントラスト(見え方のシャープさ)が落ち、また将来の白内障手術の精度も落とします)。以上のように、レーシック手術と ICL 手術は全く異なる手法です。



ICL 手術が受けられる条件は？

A ①年齢 20 歳以上の方、②視力が等価球面度数 6.0D 以上の近視または近視正乱視の方(3D 以上 6D 未満の中等度近視および 15D を超える強度近視は、慎重適応)、③術前 1 年以上、視力が安定している方

以上ですが、当院では眼の病気やその他の健康状態を主治医が確認した上で手術ができるかどうかを最終的に判断します。

ICL をコンタクトレンズと比べてメリットは？

A 毎日レンズを装着したり外したりする手間が省けます。マスクを付けているとメガネが曇って見えないという不自由さからも解放されます。ICL は眼の中にレンズを入れるため、レンズが汚れたり曇ったりすることはありません。長時間コンタクトレンズを使用する必要がある人にも適しています。旅行や外泊時にコンタクトレンズや保存液・保存ケースを持ち歩く必要もなく、災害時にレンズを紛失することもあります。万が一…というときにもメガネや使い捨てのコンタクトレンズのことを気にせずに生活できます。

入院の必要がある？

A ありません。約 20 分の手術が終わったら、1 時間ほど安静にさせていただき、ご帰宅できます。メイクなども可能なので、ダウンタイムはありません。

ICL 手術の所要時間と手順は？

A 手術は片眼 5 分程度で、消毒や器具の準備を含めると両目で 20 分程度です。手順は、最初に目薬の麻酔(点眼麻酔)をします。次に麻酔が効いていることを確認し角膜の縁(際)を約 3mm 切開し、切開部分から ICL を虹彩と水晶体の間に挿入します。最後にレンズを眼の中の虹彩と水晶体の間に固定して終了です。

ICL 手術後の治療は？

A 術後経過を診察するために翌日も外来を受診します。術後 2 日目から通常の生活に戻れます。その後の術後の経過は、1 週間後、1 か月後、3 か月後、6 か月後に外来を受診していただきます。点眼薬は術後 1 か月間差していただきます。それ以降はメンテナンスフリーとなります。

治療の費用は？

A 治療費は自由診療で、両眼でおよそ 70 万円程度です。使い捨てコンタクトレンズやケア用品を何年も使い続けた場合の費用と比べると一概に「ICL 治療は高い」とは言えないかもしれません。

